

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

| | |
|---------|-------------|
| 事業所番号 | 3870104514 |
| 法人名 | 医療法人慈孝会 |
| 事業所名 | グループホームふくずみ |
| 所在地 | 松山市福角町616-1 |
| 自己評価作成日 | 平成21年7月20日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS |
| 所在地 | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成21年8月3日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

お一人お一人を大切に和と穏やかさを大切に、という理念の基、日々お世話をさせていただいています。
ホームは静かな住宅地で田園に囲まれ、平屋づくりで併設のデイサービスとは廊下を経てつながっており、行き来が自由で開放感があるつくりになっております。趣味や行事などデイサービス利用者様と一緒に活動することがあります。中庭や玄関には、ご家族の協力を得て花や野菜づくりを楽しんでいます。散歩やドライブ買物などもできる限り取り入れていきます。日々、お一人お一人に楽しく安心して暮していただけるよう努めています。

会議は、年6回開催されており、行事や研修、職員の異動の報告やサービス評価の改善計画や改善状況の報告もされている。地域の方からの情報を得て、地区の納涼祭に参加された。地域との付き合いを深められるよう、お互いの要望等を出し合い、意見交換もなされた。
事業所では「ご本人とご家族の気持ち」を大切に、介護計画を作成しておられる。利用者の状態によっては、受診時の主治医のアドバイス等も計画に採り入れられている。
利用者が新聞から見つけられた「アジサイのきれいな場所」に出かけられたり、洋服を買いに出かけることもある。又、ご本人の希望で、お墓参りに職員と行かれた方もある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当する項目に印 |
|----|---|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25) | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38) | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目：30,31) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28) | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 小規模多機能施設ふくずみ

(ユニット名) グループホームふくずみ

記入者(管理者)

氏名 大久 朱実

評価完了日 21年 7月 20日

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-----------------|------|---|--|-------------------------------|
| 理念に基づく運営 | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | (自己評価) 地域密着を踏まえた理念としており、ミーティングや会議等に全員で復唱し、共有・実践に繋げている。問題があったとき理念に立ち返ることで方向性が見え、解決に繋がっている。 | |
| | | | (外部評価) 事業所では「お一人お一人を大切に、和と穏やかさを大切に」という理念を掲げ、玄関や居間に掲示されている。事業所新聞やご家族宛ての行事の案内等にも理念や行動指針を載せ、事業所新聞のタイトルを「ふくずみの和」と名付ける等、理念を地域の方達やご家族、職員等、皆で共有できるよう工夫されている。 | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | (自己評価) 運営推進会議等に地域の方に来ていただき、グループホームをより知っていただけるように努めている。入居されている方も地域の方が多く、家族とのつながりを通して、地域の交流もできている。祭りや日々の買物など。 | |
| | | | (外部評価) 事業所の行動指針の一つに「地域に溶け込み地域に根ざすグループホーム作り」を掲げておられ、管理者は、地区の防災訓練に参加されたり、地区主催の季節のお祭りや盆踊り、花火大会等に出かけ楽しまれている。 | |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の方の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | (自己評価) 認知症の方の理解、支援を広げるため認知症キャラバンメイトの講座を受けている。これから地域に向けて、事業所として生かせるよう努めていく。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|---|
| 4 | 3 | <p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> | <p>(自己評価) 利用者や、サービスの実際や取組状況・報告、話し合いをし、助言を頂きサービス向上に努めている。また、地域での活動や行事等の案内情報を頂き、できる限り参加するよう努めている。</p> <p>(外部評価) 会議は、年6回開催されており、行事や研修、職員の異動の報告やサービス評価の改善計画や改善状況の報告もされている。地域の方からの情報を得て、地区の納涼祭に参加された。地域とのお付き合いを深められるよう、お互いの要望等を出し合い、意見交換もなされた。</p> | |
| 5 | 4 | <p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p> | <p>(自己評価) 研修等にはできるだけ参加し、情報を取り入れるように努めている。問題等あると関係機関に連絡を取りアドバイスをもらっている。(介護保険課・社協の福祉サービス課・生活福祉課)</p> <p>(外部評価) 市の担当者の方と、生活保護受給者の生活や必要な介護用品のことについて、相談しながら支援されている。</p> | |
| 6 | 5 | <p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>(自己評価) 「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」をミーティングでとりあげ見やすいところに掲示している。普段は玄関を開放しているが、精神状況に応じて必要と判断した場合施錠をしている。</p> <p>(外部評価) 調査訪問時、玄関は鍵をかけていなかった。</p> | <p>利用者の状態によっては、やむを得ず玄関にかぎをかけることもあるようだが、事業所の理念にも立ち戻り、今後も職員等、利用者にかかわる人達で話し合い、鍵をかけなくてすむような支援について、工夫を重ねていかれることが期待される。</p> |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|-------------------------------|
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 利用者が快適に過ごしていただけるよう、勉強会を持っている。日々の状態を把握し、情報交換し、防止に努めているが、まだまだ学ぶ機会がすくないため、研修やミーティングなどで取り上げ、防止に努める。 | |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価) 現在は対象者がいないが、6月に学ぶ機会を持った、今後も必要時対応できるよう努める。 | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約の前に事前に見学等を行っていただけるようにしている。契約時は、十分に説明を行い、家族からの質問や疑問にも答え、不安がないように努めている。契約後でも質問や不安に思うことなど随時相談に応じている。利用者の方に快適に安心して生活していただけるように努めている。 | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 年に家族会を2回ほどもっている。その中で利用者・家族の意見や要望を言っている。また、個別に面談を行い個人的な意見や相談にも応じている。玄関前に意見箱を設置しより良いグループホーム作りに努めている。 (外部評価) ご家族の来訪時、職員は、ご家族とお話することを心掛け、関係作りに努めておられる。ご本人の日頃の様子を伝え、ご家族から意見や要望を聞き取っておられる。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) | |
|--------------------------|------|--|--------|---|--|
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) | 月に1回運営委員会を行い、日々のケアの中で提案や疑問、意見などを話し合いながらケアや運営に反映させている。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | (自己評価) | センター長が年2回面談を実施し意見や要望を聞き意思の疎通を図っている。現場の細かな状況や、変化までは把握しがたく、問題は多いと思われる。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 13 | | 職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) | 職員一人一人がスキルアップしていけるよう、研修などの参加を勧めたり、ミーティングなどに割り当てられた勉強会の発表をしたりして個々の意識を高め、全体の意識・技術の向上に努めている。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | (自己評価) | 他の事業所の勉強会や研修報告会などに参加できるよう呼びかけし、交流を通じた向上に取り組んでいる。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | (自己評価) | 本人や家族からの聞き取り、医師や関係スタッフからの情報提供・意見書・看護介護要約等からの情報の把握に努め、本人をよく知り今までの生活を出来るだけ維持する事で安心して暮らして頂けるよう努めている。一週間以内でプランを立て統一したケアをしている。 | |
| | | | (外部評価) | | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | (自己評価) 入居される前から見学してもらい、情報交換し合う。入居後は本人が安心して知らせるよう出来るだけ来所して頂き、安心して頂けるよう関係作りに努めている。 | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 入居以前の本人や家族の声を聴き、診療情報提供や看護・介護要約・意見書等・実際関わるスタッフの声などから必要としている支援を見極めている。 | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | (自己評価) できる限りできることを提供し、一緒に食事を作り一緒に家事もしている。共に過ごし支えあえるよう努めている。 | |
| 19 | | 本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) できる限り家族との交流が持てるよう、声かけや状況報告をし、面会・行事等に一緒に参加してもらえよう呼びかけている。 | |
| 20 | 8 | 馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) 買物や、習慣、懐かしい場所などに出かけたりするよう努めている。馴染みの人からの連絡等あったおりは、積極的に受け入れている。 (外部評価) 地元から入居されている利用者は、馴染みの店に買い物に行った際に、ご家族に会われることもある。又、遠くに住むご家族には、事業所からの便りとともに、ご本人からの手紙も同封されている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|----------------------------------|------|--|---|-------------------------------|
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | (自己評価) 個々の心身の状態・生活状況を日々把握し、いい関係が持てるよう、居場所・席の工夫や軽作業やレクリエーション等取り入れて工夫している。 | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価) サービスが終了しても、本人を訪問したり、関係者に情報をもらったりして経過をフォローできるように努めている。一時的な入院後の相談や施設等の連絡調整にも応じており、本人や家族にも安心して頂けるよう努めている。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 日々のケアの中で、言動や表情の中から、その真意を伺い、確認するようにしている。意思疎通困難な方には、家族にも情報を得るようにしている。更に、一人一人の意見を反映できるように表情やしぐさなど汲み取るように努めている。 (外部評価) 職員は、「できるだけゆったりとした会話やかかわり」でご本人の思いや意向を探っておられ、日々の介護記録に思い等を記入する欄を設けて、職員で共有されている。 | |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) 部屋になじみのタンスや椅子などを持ってきていただき、家で生活していた環境と同じように安心して生活できるように努めている。また、家族の写真や手紙など部屋に飾ることにより、安定した生活を図っている。本人や家族、医師(情報提供・意見書・看護介護要約等)からの情報の把握に努めている。 | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | (自己評価) 一人一人の24時間の生活リズムを理解するとともに、心身・心理面の視点でできること、できないことに注目し、小さな行動からでも感じ取り、その人の全体像の把握に努めている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 26 | 10 | <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>3ヶ月ごとのカンファレンス、3~6ヶ月ごとのモニタリング、変化があるときの見直しを行っている。本人家族、主治医、職員の意見や情報を取り入れるように努めている。職員全員での話し合い・介護計画の作成を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所では「ご本人とご家族の気持ち」を大切に、介護計画を作成しておられる。ご利用者の状態によっては、受診時の主治医のアドバイス等も計画に採り入れられている。</p> | |
| 27 | | <p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>(自己評価)</p> <p>個別にファイルを作成し、介護計画に基づいた日々の記録に努めている。情報共有の徹底のため伝達簿を用いたり、介護計画の見直しに努めている。</p> | |
| 28 | | <p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>(自己評価)</p> <p>小規模多機能の特性を利用し、デイサービスの行事に参加したり、日常的に行き来して交流を図っている。また、個別的には買い物や外出、ドライブ等ニーズに応えている。</p> | |
| 29 | | <p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>(自己評価)</p> <p>小学校や保育園との交流、地域の店や自然・行事等楽しむことで協力を図っている。(神社・教会・浜辺・夏祭り・花火・いのこ・秋祭り・スーパー・個人の店等)</p> | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|---|
| 30 | 11 | <p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>本人や家族の希望・要望に応じた病院の受診に努めて いる。協力医療機関として福角病院があり、月2回の 訪問診療と必要時、受診できるよう支援している。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | <p>現在、利用者全員、主治医は母体病院となっており、 受診時は、職員が同行されている。受診結果は、ご家 族に電話で伝えるようになっている。</p> | |
| 31 | | <p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や、 状態変化に応じた支援を行えるようにしている。24 時間体制で小規模多機能施設内の看護職員と連絡を取 れるようにしており、個々の利用者が適切な受診や看 護を受けられるようにしている。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | | |
| 32 | | <p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>入院された際には、情報提供を行い、入院後は病状を 把握できるよう面会や連絡をとるようにしている。早 期退院に向けて、病院関係者と密に情報交換し、家族 との調整も行っている。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | | |
| 33 | 12 | <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p> | (自己評価) | |
| | | | <p>終末に対する見取りの指針を定め、事業所が対応しえ る最大のケアに努めている。本人・家族の希望を重視 し、主治医と密に連絡を取りながら方針を共有し事業 所でできることを行っている。</p> | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | <p>事業所で「ターミナルケアマニュアル」を作成されて いる。管理者は、家族会時、ご家族には、老健や特養 への申込をお願いされた。ご本人の状態変化時には、 ご家族と話し合われている。</p> | <p>ご家族の中には最期を事業所で迎えたいと希望されて いる方もあり、今後、ご本人の希望等も聴きながら、 事業所で支援できる体制を作っていかれてはどうか。</p> |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-------------------------------|------|---|--|-------------------------------|
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価) A E Dを設置し全員講習を受けた。救急法の講習は受けていないものもあり、今後、定期的訓練を計画していく。タイムカードのところに心肺蘇生法のポスターを貼っており日々確認するようにしている。急変対応時マニュアルを作成している。 | |
| 35 | 13 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価) 防災訓練を消防署より来て頂き年に2回実施している。利用者・家族・職員・運営推進会議の地域の方に参加を呼びかけ、連携をとっている。連絡網を作成している。 (外部評価) 事業所は、法人内の他の介護施設と「自衛防火隊」を編成され、いざという時には協力し合える体制を作っておられる。運営推進会議時、消防署の協力を得て地区の方達やご家族とともに避難訓練を行われた。4月には緊急時の連絡網を新たに見直された。 | |
| .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | (自己評価) 自室で過ごすときや排泄・入浴・更衣時特に気をつけている。言葉かけや、職員の会話においても注意している。 (外部評価) 調査訪問の昼食時、ご利用者が職員のお皿に手をのばされていたが、職員は、笑顔で穏やかに「どれにしますか」と、声を掛け対応しておられる様子うかがえた。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | (自己評価) 利用者に合わせて声かけ、意思表示が困難な方には表情をくみ取れる場面を作ったり、些細なことでも、本人が決めるようにしている。(食べ物・衣類・居場所) | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) 一日の流れの中で、今までの生活習慣や一人一人の体調に配慮しながら、その日その時の本人の気持ちを重視し、全体の状況を踏まえた上でできるだけ柔軟に対応する。 | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | (自己評価) その人の好みや似合うものを選び、身だしなみや、おしゃれに無関心にならないように、起床時や入浴後など鏡も利用して、おしゃれを楽しんでいただいている。 | |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 野菜を切る、米を研ぐ、テーブルを拭く、皿を拭くなど一緒に行なっている。できるだけ食事も一緒に行なっている。楽しい雰囲気がもてるような席を工夫している。できるだけ多くの人に関わってもらえるようになっている。 | |
| | | | (外部評価) 事業所では、いろいろな食材を使って食事作りをされている。煮物や汁物の好み等も採り入れ、朝食は、ご飯・お粥・パンが選べるようになっている。昼食時の席は、職員が利用者の中に入り、同じものを食べながら食事内容についても、お話しが弾んでいた。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 個人チェック表により摂取量を記録している。(適宜水分摂取量)栄養については豊富な食材やメニューも偏らないように工夫している。好みの飲み物を聞いて飲んでいただいたり、食べる能力に応じてかゆ・きざみ・エンシュアなどで対応している | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | (自己評価) 毎食後の歯みがき等の声かけを行い、職員が見守り、必要時介助を行なっている。就前に義歯ははずしポリデントにて洗浄を行なっている。食事前にも出来るだけうがい等行なっている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) | |
|------|------|--|--------|--|--|
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | (自己評価) | それぞれの残存能力や状態を考慮しながら、オムツに頼ってしまわないようできるだけトイレでの排泄を促している。トイレの訴えのない利用者にも、時間を見計らって誘導している。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | (自己評価) | 水分補給や食事やおやつなどに乳製品を取り入れるなど、便秘予防に努めている。出来るだけ自然に排泄が出来るように心がけているが、必要時には下剤や浣腸等の指示を受け対応している。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価) | その日の利用者の希望や、体調を考慮し入浴を行なっている。一人一人の要望、状態、タイミング、湯の温度、入浴剤等好みに合わせて、気持ちよく入浴を楽しんでいただいている。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | (自己評価) | 日中の活動を検討し生活のリズムを整えている。今までの習慣を考慮し、一人一人に合った、休息や睡眠を支援している。また室温、照明等も、個々に合わせている。必要時眠剤を服用している。 | |
| | | | (外部評価) | | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|---|
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 服薬マニュアルを作成し、処方内容は職員が把握できるようにファイルに整理している。誤飲、飲み忘れなどないように、服薬する際には必ず確認している。症状の変化の確認、記録、報告に努めている。 | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | (自己評価) 食後のコーヒーを飲む、好みの物を買う、手遊びをして過ごす、食事の準備、洗濯物たたみ、散歩等、一人一人に応じて支援している。強制や負担にならないよう、一人一人の気持ちを重視して対応している。 | |
| 49 | 18 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価) 一人一人の希望、天候や状態に応じ、季節を肌で感じていただけるように、野菜の収穫、日光浴、花や夕陽を見る、風に当たる等支援している。その時々に対応して家族や関係者の協力を得ている。 | |
| | | | (外部評価) 利用者が新聞から見つけれられた「アジサイのきれいな場所」に出かけられたり、洋服を買いに出かけることもある。又、ご本人の希望でお墓参りに職員と行かれた方もある。 | 利用者の希望を引き出し、日常的に外出して楽しめるような取り組みが期待される。運営推進会議時等でも話し合い、地域やご家族等の協力も得て、利用者の生活を上げていかれてほしい。 |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) 現在、ほとんどの方は事務所で職員が管理している。数千円自己管理の方もいる。外出時には利用者の方に渡し、払っていただけるように工夫している。 | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) 利用者の電話がしたいなどの要望があったとき、また職員が何かの連絡で家族に連絡するときなどは声かけを行ない支援している。また、家族の方が近くにおられず、郵送にて送る際にもこえかけし、手紙等書いていただき一緒に送らせていただいている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 52 | 19 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | <p>(自己評価)</p> <p>玄関やリビングなどは季節感を感じていただけるよう花などを飾っている。日勤帯・夜勤帯で掃除を分担し、清潔感のある快適に生活していただけるよう居場所作りに努めている。冷暖房、照明、消臭、換気等、工夫調整している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には、幅広のソファがあり、そこでお昼寝をされる方もある。トイレや浴室の場所が分かりやすいように、イラスト入りの表示がなされていた。</p> | |
| 53 | | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | <p>(自己評価)</p> <p>玄関にベンチ、中庭にウッドデッキ、リビングにソファなどくつろげる空間を作っている。花や写真、置物、本などを置き、居心地のよい空間作りに努めている。</p> | |
| 54 | 20 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | <p>(自己評価)</p> <p>本人の好みや馴染みのものを持ってきていただき、安心して生活していただけるように工夫している。また、家族の写真などを自室に飾り居心地良く快適に生活できるよう努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には備え付けの洗面台があり、ご自宅で見ているテレビや籐の椅子を持ち込まれている方もおられる。ご家族が持って来られた観葉植物を飾っておられる方もあった。</p> | |
| 55 | | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | <p>(自己評価)</p> <p>一人一人の出来る事、出来ない事を把握し、状況にあわせて環境整備に努めている。混乱や失敗が生じた場合、その都度職員と話し合い、原因を取り除き、できるだけ自立して、安心して安全に暮していけるよう努めている。</p> | |